

平成25年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート(委員評価のまとめ)

※ ◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。
◆館の重点評価項目は、中央図書館が重点的に取り組んだ事業。

シートNo.1

中心図書館名：白根図書館

区分	事業名	事業概要	実施結果	評価		
				自己評価	外部評価	
課題解決型図書館	◇全館共通評価項目 ・レファレンスサービスの充実	・市民に身近な生活課題解決のため、レファレンス(調査・相談)サービスを充実させ、迅速かつ的確な情報提供を行う。	レファレンス件数は目標値に届かなかった。 H25目標値 : 500件 25実績 : 323件 24実績 : 430件	レファレンス拡大のため揭示等改良しているが、増加させるほどの効果はなかった。さらにPRしながら工夫し需要喚起したい。しかし、押し売りもできないので難しいところである。	1 大変評価する。 12.5% 2 ある程度評価する。 87.5% 3 評価できない。 - %	・館内が静かすぎて聞きにくい。 ・図書館員に声をかけづらい面があり、親しみやすい雰囲気。 ・必要な人に必要な情報を提供するように。 ・書架の上をもっと活用してほしい。
	◆館の重点評価項目 ・展示架等積極的展開	レファレンス啓発揭示の工夫はもちろん、季節・時事・話題に合わせた企画展示を行うとともに、他部署との連携にも努力したい。	入口の企画展示架は毎月テーマを変え趣向を凝らした展示を行い、その時々話題・情報を提供している。ミニ展示架も毎月の読書会で取り上げられた本、追悼・受賞等タイムリー性のある短期的展示を行った。	企画展示架・ミニ展示架ともに図書館入口にあり、PR効果抜群のため他課からの関連展示依頼もあり、相互連携にも役立っている。タイムリー性もあり、レファレンスのヒントを提供している面もあるのではないかと。しかし、あまり多くなりすぎると目につきにくい面もある。	1 大変評価する。 37.5% 2 ある程度評価する。 62.5% 3 評価できない。 - %	・揭示物が多すぎる心配せずもっと行ってほしい。 ・遊び心をもった展示の工夫を。 ・展示した結果を評価して次につなげられるように。
分権型図書館	◇全館共通評価項目 ・地域資料の収集	・各区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を実施する。 ・特に風・農業関連についての資料収集に努める。	南区の図書館として、風、農業関係資料の収集は勿論、関係行政資料についても情報を広く求め、収集している。 H25蔵書目標:6,600冊 " 実績:6,812冊	風関係については新刊発行、寄贈等見込薄だが、農業関係は関連分野を含め発行があり、「農業コーナー」も冊数的にも、また内容的にも充実してきている。新規就農者の伸びも見られ、アグリパークの開設と合わせ今後役立ててもらえるよう工夫したい。	1 大変評価する。 75% 2 ある程度評価する。 25% 3 評価できない。 - %	・農業関連本はますます重要。 ・「本から知識を得る」という声も聞き、伸びてくのではないかと。
	◆館の重点評価項目 ・農業等産業関連図書の充実	・南区の主産業である農業関連図書の収集を進めるとともに、他の地場産業関連にも拡大したい。	同上	同上	1 大変評価する。 62.5% 2 ある程度評価する。 37.5% 3 評価できない。 - %	・地形的に水害が多く災害全般に関わる本も重要。
学・社・民融合型図書館	◇全館共通評価項目 ・ブックスタートの実施	・1歳誕生歯科健診会場において、赤ちゃんと保護者に絵本の読み聞かせを体験していただく「ブックスタート」の実施。	月一回の1歳誕生歯科健診時に実施。 12回実施 ブックスタート参加数 331名	ブックスタート3年目。その間担当者の異動、会場変更など、担当者も用意周到に初回から順調なスタート。その後もボランティアさんと協力し、今年度も見事に乗り越えた。	1 大変評価する。 100% 2 ある程度評価する。 - % 3 評価できない。 - %	・10年後にはこれまでの努力が開花すると思う。 ・親子が楽しめるものが好ましい。 ・保護者への啓発につながる。 ・新米ママさんへのお手本となりとてもよい。
	◆館の重点評価項目 ・ボランティア講座の実施	「読み聞かせボランティア養成講座」の実施。また、南区読み聞かせ等ボランティア交流会と共に「読み聞かせ等ボランティアステップアップ講座」を初めて開催する。	・読み聞かせボランティア養成講座参加人数 5名 ・交流会及びステップアップ講座参加人数 20名 講座と交流会を同時開催したことで参加者の増につながった。	・読み聞かせボランティア養成講座は参加数が少なかったものの、その後も白根図書館で活動しているボランティアグループの勉強会に参加を継続している会員も多い。 ・初めて開催したステップアップ講座には南区で活動されているボランティアから多く参加してもらい好評だった。継続していきたい。	1 大変評価する。 37.5% 2 ある程度評価する。 62.5% 3 評価できない。 - %	・ボランティアさんには頭が下がる。 ・ボランティア養成に時間もかかり講座は大切。 ・他グループとの交流機会がないので続けてほしい。 ・できないと思っている人が多いが我が子に読んであげる感覚で始めてもらえればよい。
パートナーシップ型図書館	◇全館共通評価項目 ・共催事業の実施	・市民との協働をいっそう推進するためボランティア・教育機関や民間団体と連携して事業を行う。	白根図書館の応援団である「しろね図書館友の会」を中心に共催事業を実施した。 読書会 毎月第3日曜日 講演会(10月) 図書館まつり(10月)	開館以来の応援団「友の会」さんの協力があった実現しているものも少なくない。特に今年度、読書会改革には友の会の一層の協力なしには実現しなかったろうし、また初の「図書館まつり」開催も、講演会もやはりである。	1 大変評価する。 37.5% 2 ある程度評価する。 62.5% 3 評価できない。 - %	・読書会参加者増加の工夫を。 ・ボランティアさんのいいアイデアを引き出すように。 ・新規ボランティア確保するためにも図書館が地域にとって身近な存在であってほしい。
	◆館の重点評価項目 ・職場体験・ふれジョブ等受入	学校からの見学・職場体験、そしてふれジョブ等、積極的に受入たい。	図書館見学、職場体験等は積極的に受け入れた。 施設見学 9件 職場体験 18名 ふれジョブ 1名(10回)	受入体制、内容等十分ではないが、受入要請には出来る限り応えるように心がけている。職場体験では南区以外からも依頼があり、白根図書館という存在が多少なりとも評価されているのではと喜んでいる。	1 大変評価する。 75% 2 ある程度評価する。 25% 3 評価できない。 - %	・積極的な売り込みも行ってほしい。 ・大変いいこと、地域の図書館としての誇りも出てくると思う。